

清風

瀧尾弘吉先生より贈られた「窓下有清風」の書より

山木靖雄
後援会
だより

21世紀の高齢化社会に備えて、 福祉対策の強化と行政の充実を

広島市医師会会長 落久保 幸夫氏

都市環境分野を始め、農林分野、
教育分野等あらゆる方面で活躍中の
山木靖雄県議ですが、今回は、広島
市医師会の落久保会長と対談し、福
祉医療の面で親しく懇談しました。

山木 高齢化社会を迎えて、医療体
制・福祉の問題について取組みたいと
考えていますので、先生にご指導頂け
れば……と思います。

落久保 広島市医師会として、江波
に建設されます高齢者福祉施設の運
営に昨年4月、参画しました。これ

は、保健と医療・福祉の連携が求め
られており、医師会が運営に参画す
る事において在宅福祉、施設福祉の一
本化が果たされると考えてものでは
す。

山木 これからの福祉は在宅福祉の
方向にあるようですが……

落久保 そうですネ。特にこれから
の高齢化社会に向けては施設福祉で
の対応には困難な問題があつて、在宅
福祉に頼らざるを得ない状況にありま
す。そこには寝たきり老人の方々が居

られますので、在宅ケアを中心とし
た後方の施設が必要となって来ます。
そこで、かかりつけ医を中心に、マンパ
ワーによるデーサービス・入浴サービ
ス等、ケアを含めた在宅福祉には、後
方の施設としての施設福祉との連携
が大切と考えます。

今、かかりつけ医の位置づけが話題
となっております。かかりつけ医といま
すのは、外来と在宅医療それに福祉
をひとつにしたもので、24時間体制で
応じていくものです。厚生省では、今
年、モデル地区を設けて、かかりつけ
医を制度化させることにしています。

山木 心強いお話しですネ。さて、
先程のマンパワーに関する事ですが、
看護婦さんの不足の問題が果会でも
取り上げられまして、平成5年度の
予算で、三原に県立の保健福祉短期
大学を設置する事になりました。医

療だけでなく、福祉を目指したマンパ
ワーの充実を図る事が目的ですが、こ
ちらの面でも色々とお手伝いを願う
事が出て来るのではないかと思います。

落久保 看護婦・福祉・介護士は公
的機関で養成して頂ければと願ってい
ますが、量的にも質的にも、短期大
学でして頂ければと思います。市医
師会としても、准看護婦を40人・
看護婦を50人養成していますが、看



護婦を100人に増やしたいと考えていま
す。そのための施設補助をお願いして
いる所ですがこの点につきましてもよ
ろしくお願いしたいと思ひます。

いずれにしても21世紀の高齢化社会
の中ではマンパワーの問題が非常に大き
いと思ひます。

山木 今、三次の看護専門学校を
新しく作り直す事での調査費を自民
党として要求して行く事になっていま
すが、切実な問題ですので早くやら
ないといけませんネ。

今日はお忙しいところ、貴重なお話し
を頂きましたありがとうございます。
21世紀、高齢化社会に向けての福祉
対策の重要性を改めて認識する事が
出来ました。今後ともご指導くださ
いますようよろしくお願い致します。